

平成 24 年度事業報告書

(平成 24 年 4 月 1 日から 平成 25 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人しょうがい生活支援の会すみか

1. 事業の成果

「障がいの有無を問わず誰もが自己実現できる社会づくり」「24 時間 365 日このまちで安心して暮らせるシステムづくり」という本法人のミッションに基づき、引き続き事業を展開した。

年度当初に掲げた組織体制の整備について、掲げた 4 項目に対する取り組みは以下の通りである。

① 事業を適切に実施するための研修や O J T による人材育成

常勤職員に対しては、外部研修を中心に専門技術のスキルアップを図った。また、アルバイト職員（放課後児童健全育成事業）については、障がいのある子どもに対する理解と支援のスキルアップを目的に、月 2 回の通常研修と年 3 回の特別研修を行った。

質的向上は見られたが、多様化・高度化する事業内容に対応するためにも引き続き研修を行うことが必要である。

② 税理士との顧問契約による経理の合理化

NPO 法人特有の会計処理に精通した税理士事務所と顧問契約を結び、事務の効率化を図った。

帳簿への記帳処理の負担は軽減されたものの、使途が限定された助成金の決算など部門毎の整理について意思疎通が不十分で、決算処理の際に多少の混乱があった。今後は情報共有を密にすることで、よりスムーズに経理が行えるよう留意が必要である。

③ ミッションに共感していただける方を増やす情報発信

『プロボノ SAGA スタイル』の支援により、ホームページのリニューアルを行った。完成後は名刺や広報物に QR コードを載せたり Facebook で告知するなど活用を図った。その結果、問い合わせや来所いただく際にホームページにて事前に情報収集される方が増加した。

④ さらに多くの皆様に支援していただける組織としての認定 N P O 法人の取得

イベントなどの機会に寄付募集のチラシを配付し、口頭での PR も合わせて行ったが、認定 NPO 法人取得へ向けてはまだまだ不十分な件数となった。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

上記の事業実施の方針を具現化するため、以下の事業を行った。

① 障がい児・者の休日支援事業

支出額 11,954 千円

A. 地域生活力向上プログラム（助成：佐賀県地域福祉振興基金）

どんな障がいがあっても地域で生きていく力を育てることを目的として行った。

「レスパイト（外出活動）」「チャージ（動作法）」「アップ（保護者グループ）」の3つの柱を継続し、まだ繋がることができていない隠れたニーズを掘り起こすことで、みんなで支え合う体制づくりと新たな課題発見に努めた。

実施日：レスパイト…8日（1泊の宿泊活動を含む）、チャージ…11日、
アップ…研修会2日、グループ相談（児童）6日、（成人）3日
個別相談9日

実施場所：

レスパイト…JR博多シティ・アミュプラザ博多、ふくこいアジア祭り、
福岡市動植物園、有田波佐見・小浜温泉（宿泊）、
キャナルシティ博多、櫛田神宮、筑紫野イオンモール
チャージ…若葉コミュニティセンター、基里公民館、こすもす館
アップ…鳥栖市民体育センター、若葉コミュニティセンター、
基里公民館、法人事務所

スタッフ数：（延べ）

レスパイト…講師4名、ボランティア29名、事務局9名
チャージ…講師15名、ボランティア64名、事務局20名
アップ…研修会・講師3名、ボランティア4名、事務局3名
グループ相談・講師18名、ボランティア8名、事務局18名
個別相談・講師9名

対象者：心身に様々な障がいのある人及び家族

対象人数：（延べ）レスパイト…障がい児・者28名

チャージ…障がい児・者・家族65組130名

アップ…研修会32名、グループ相談42名、個別相談9名

B. 中原特別支援学校放課後児童健全育成事業

(委託 (みやき町) : 中原特別支援学校放課後児童健全育成事業)

障がいのある児童が、就学時間終了後及び長期休暇期間中に安全且つ安心して過ごせる場となるよう、管理・運営を行った。

実施日：月～金曜 14:00～18:00

土曜・長期休暇中 9:00～17:00 (8:30～18:00 の延長あり)

実施場所：中原特別支援学校多目的室

スタッフ数：1日当たり6名

対象者：中原特別支援学校に在籍する児童・生徒

対象人数：(延べ) 2,587名

C. 障がい児の長期休暇支援事業

夏休みの障がい児等に活動の場を提供し、療育的視点を持ったレクリエーションを行うことで心身の発達を促すと共に、長期の休みで介護負担が増加する家族のレスパイト・ケアを行った。

実施日：夏休み期間中6日

実施場所：鳥栖市民文化会館、鳥栖市民プール

スタッフ数：(延べ) 講師9名、ボランティア16名、事務局6名

対象者：18歳以下の障がい児

対象人数：(延べ) 17名

②障がい者の就労に関する事業

支出額 366千円

D. リサイクルショップぐるり

寄せられた不用品や作業所等で作られた野菜等の商品販売等を通して、障がいを持つ人の社会参加の促進を目指した。

実施日：月曜～金曜 10:00～17:00、及び地域のバザー10日

実施場所：法人事務所、ラ・フォル・ジュルネ、旭地区盆踊り大会、
防災フェスタ、八ツ並公園、ふれあい広場、若葉地区文化祭、
旭地区文化祭、とす弥生まつり

スタッフ数：(通年) 事務局2名

対象者：障がいのある人や関係者

対象人数：(延べ) 90人

③福祉に関する相談支援事業

支出額 136 千円

E. コミュニティサロン

障がいの有無にかかわらず様々な人が集える居場所づくりを行った。

実施日：毎週水曜日 10:00～15:00

実施場所：事務所

スタッフ数：(通年) ボランティア 2 名、事務局 2 名

対象者：一般市民

対象人数：(延べ) 610 名

④障がい児のきょうだい支援事業

実施なし

⑤健康増進事業

支出額 1,168 千円

F. こころとからだの健康教室ほっと

腰痛・肩こり・不眠などでお困りの方に動作法を行い、リラックスしていただいた。

実施日：月曜～金曜 10:00～19:00

実施場所：法人事務所、など

スタッフ数：(通年) トレーナー 1 名、事務局 1 名

対象者：一般市民

対象人数：(延べ) 433 名

⑥福祉啓発事業

支出額 302 千円

G. 障がいに関する啓発事業 (委託 (鳥栖市) 障害者理解促進事業)

障がいのある人への理解を促進するため、出前講座での啓発活動を行った。

実施日：小・中学校 3 回、企業向け 1 回、鳥栖市職員向け 1 回

実施場所：麓小学校、田代小学校、基里中学校、鳥栖商工センター、
鳥栖市役所大会議室

スタッフ数：(通年) 1名

対象者：小・中学生、保護者、企業関係者、鳥栖市職員

対象人数：450名

H. エンパワーメントセミナー事業 (委託 (鳥栖市) : 障害者理解促進事業)

障がい当事者がそれぞれの立場や団体の利害関係を超えて集える場所をつくり、楽しい時間を過ごしたり、悩みを共有したり、情報交換できる場所とした。

実施日：講演会 3回、障がい当事者の会 10回

実施場所：講演会・鳥栖市民文化会館

障がい当事者の会・鳥栖市社会福祉会館

スタッフ数：講演会・(延べ) 講師 6名、事務局 6名

障がい当事者の会・(延べ) 講師 10名、事務局 10名

対象者：講演会・一般市民

障がい当事者の会・18歳以上の障がい当事者

対象人数：(述べ) 講演会 169名、障がい当事者の会 55名

I. 研修・交流事業

テーマや対象者に合わせた研修会や出張講演・交流事業を行い、障がい福祉に関する理解を深める。

実施日：年間 6回

実施場所：筑紫女学園大学、サザンクス筑後、佐賀県看護協会、
サンメッセ鳥栖 (2回)、唐津市民交流プラザ

スタッフ数：(通年) 1名

対象者：会員、鳥栖近隣の福祉関係者、一般市民、等

対象人数：(延べ) 410名

J. 市民協働事業

当法人のミッション達成にも通じる活動を行う市民活動団体と協働しての事業を行った。

ア. 幸せの黄色いレシートキャンペーン

(イオン上峰ショッピングセンターに参加)

イ. 鳥栖・三養基地域障害者自立支援協議会

全体会 (構成団体として)

- 児童部会長長期休暇支援協議会（芹田：協議会長として）
ウ．鳥栖・三養基地区夏休み教室実行委員会（芹田：委員として）
エ．鳥栖市障害者理解促進事業（芹田：委員として）
オ．鳥栖みらい会議（芹田：委員として）
カ．ふれあいスクール（芹田：校長として）

実施日：通年

実施場所：鳥栖・三養基地区

スタッフ数：（通年） 1 名

対象者：一般市民

対象人数：多数

- ⑦ 障がい児・者を取り巻く福祉・教育・就労等に関する調査・研究事業
実施なし

- ⑧ 上記の事業を達成するために必要な事業
実施なし

(2)その他の事業

特定非営利にかかる事業を滞りなく実施するため、以下の事業によって収入の確保に努めた。

- ①自動販売機設置事業

支出額 11 千円

K.自動販売機設置事業

本法人を支援する個人宅や企業内に自動販売機を設置し、特定非営利活動に係る事業を資金的に補填する。また、設置に際しては販売機にその設置趣旨を明記し、啓発広報にも活用する。

実施日：通年

実施場所：本法人を支援する企業内（1ヶ所）

スタッフ数：（通年） 2 名